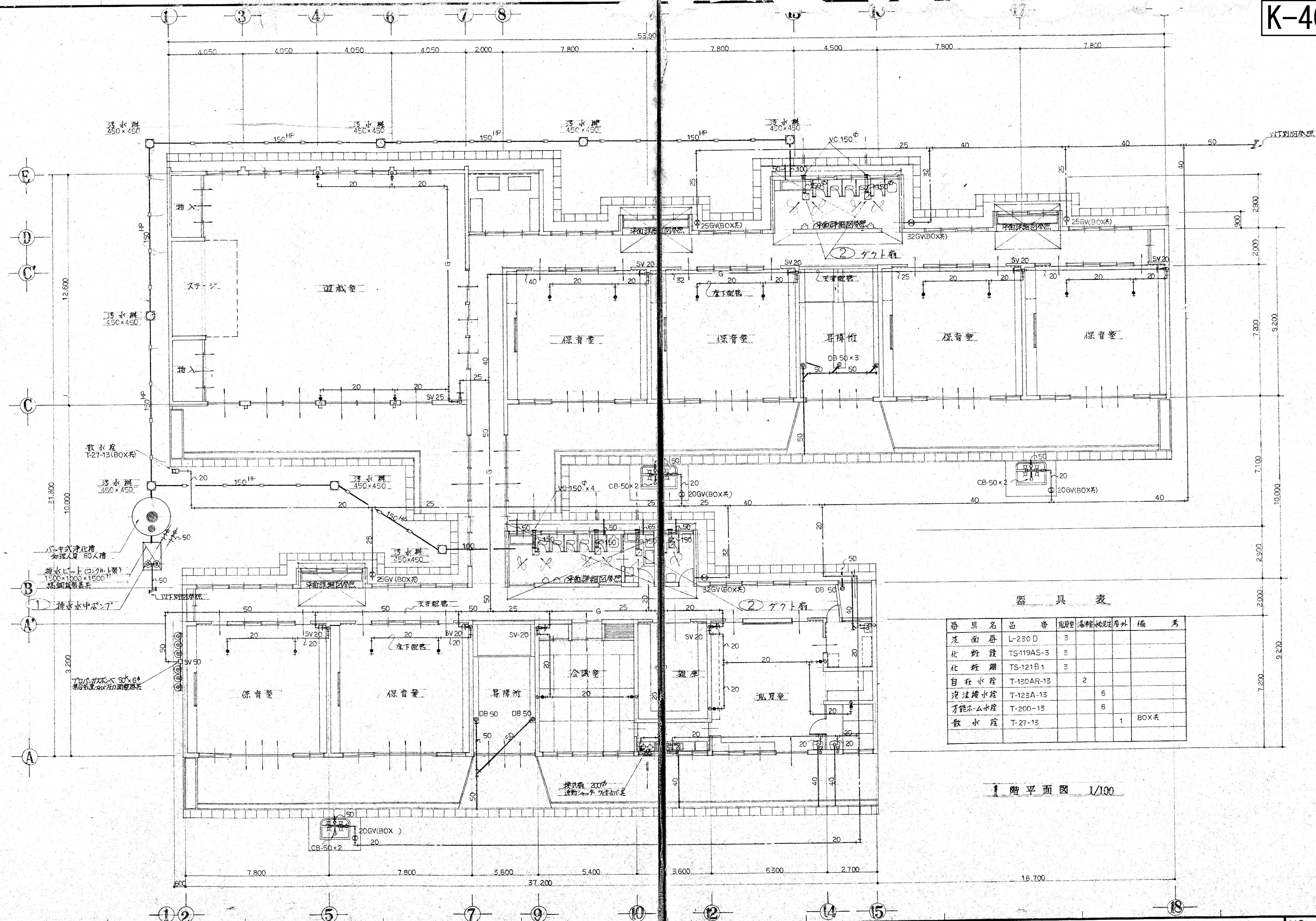
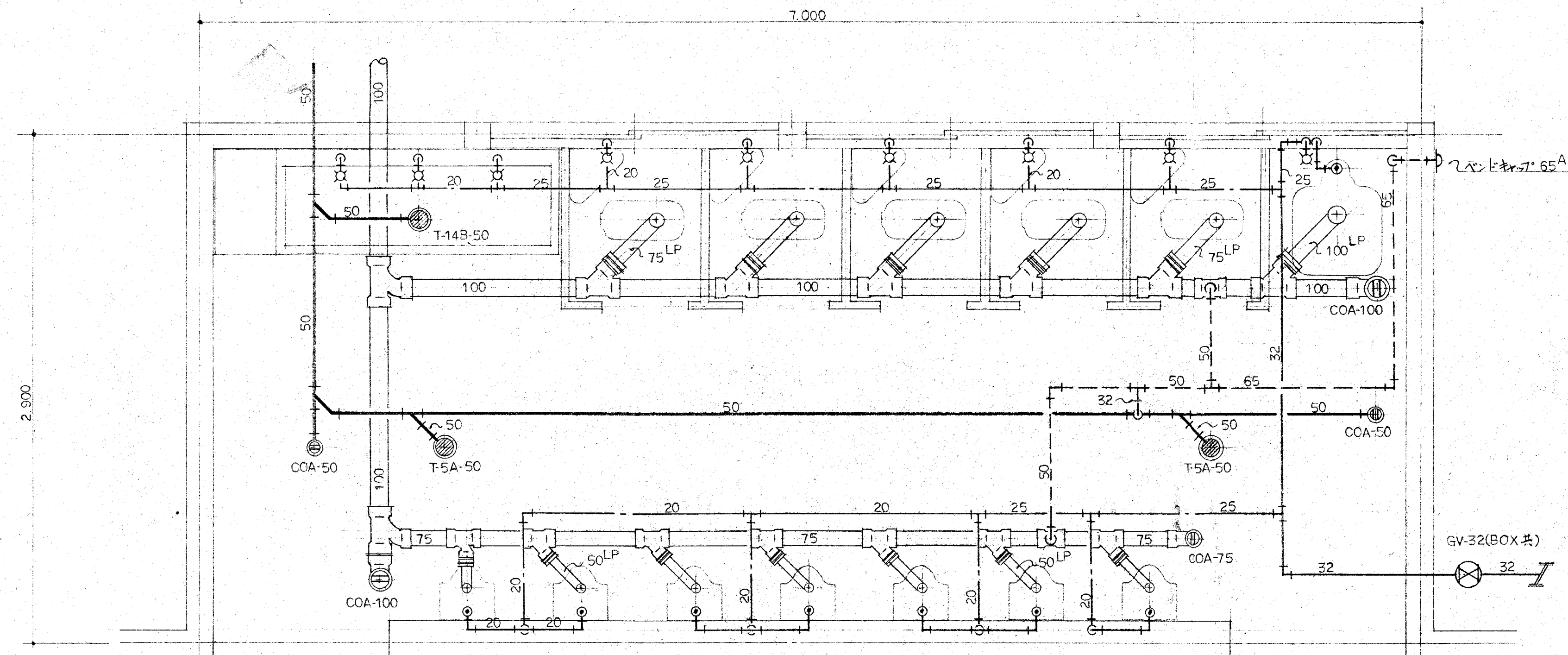




器具表

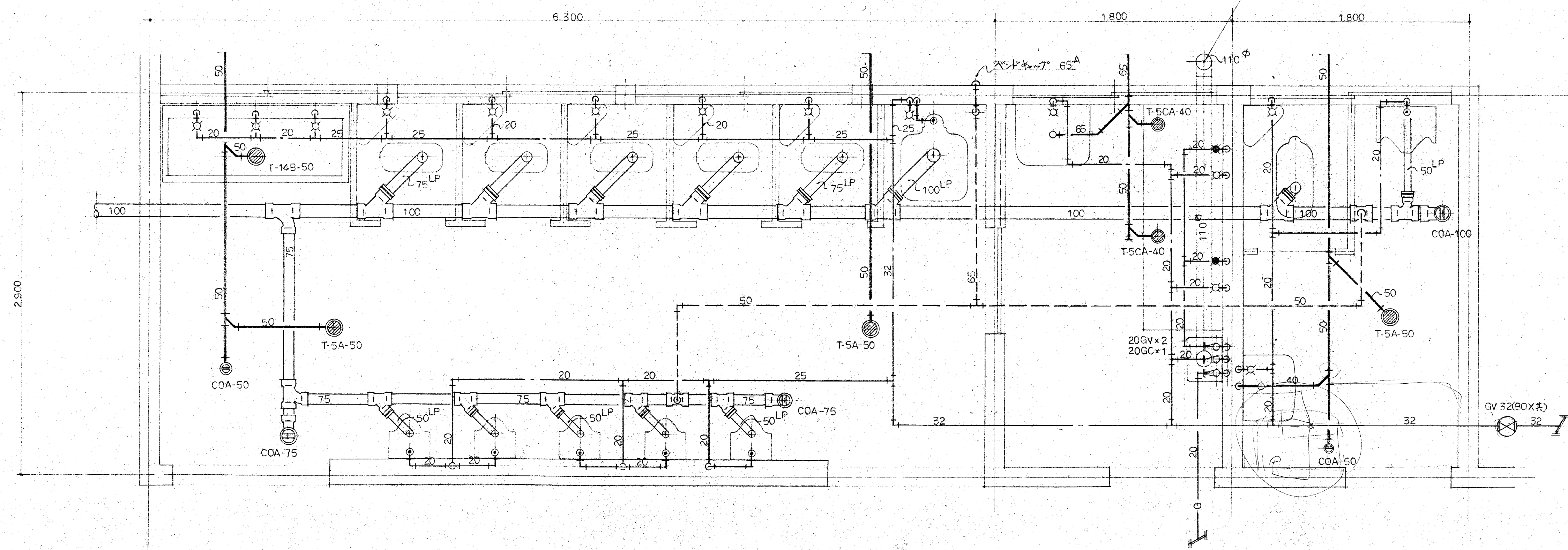
器具名	品番	数量	仕様	備考
洗面器	L-230 D	3		
化粧鏡	TS-119AS-3	3		
化粧棚	TS-121B1	3		
自在水栓	T-130AR-13	2		
泡沫横水栓	T-123A-13		6	
才能水栓	T-200-13		6	
散水栓	T-27-13		1	BOX共

1階平面図 1/100



便所平面詳細図 1/20

器具表									
器具名	品番	便所A	便所B	洗面室	脱衣室	計	備考		
小豆用便器	C-103	5	5			10	(TS-116)		
台上用口タケ	S-570	5	5			10	(T-82A-32) (TS-40)		
小便器	U-53	7	5			12	(T-60P)		
汚物流し	SK-33	1	1			2	(TK-133ARY-13) (T-163N)		
胸長水栓	T-123A-13	3	3			6			
自在水栓	T-130AR-13			4		4			
掃除流し	SK-22			1		1			
瞬間湯沸器	PH-8C			1		1			
和風工便器	C-375V				1	1	(TS-116)		
台上用口タケ	S-570				1	1	(T-82C-32) (TS-571D)		
小便器	U-37				1	1	(T-60S)		
洗面器	L-230D			1		1			
化粧棚	S-3			1		1			
化粧鏡	TS-119AS-3			1		1			



便所平面詳細図 1/20

建築工事特記仕様書

A 工事概要

1 工事名称

小笠北幼稚園々舎増築 工事

2 工事場所

静岡県小笠郡小笠町

3 用途地質

指定なし

4 防火区域

指定なし

5 建築面積

121.44 M²

M²

M²

合計

M²

6 床面積

121.44 M²

附属機

M²

M²

合計

M²

7 敷地面積

738.1 M²

8 構造概要

鉄骨造平家建

9 工事範囲

B 一般事項

1 仕様書の適用範囲

特記仕様書に記載してある事項の他はすべて、建設大臣官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」最新版による。
ただし、木工事に関係しない事項については適用しない
設計図の内容に相違ある場合、明記のない場合、誤りのある場合及び脱漏のある場合は、係員の指示によるものとする。

2 提出書類

1 工事着手届
(特記なき限り3部提出)
2 工事契約書
3 工事費内訳明細書
4 工事工程表
5 現場主任技術者署名及び現場代理人署名
6 下請名簿及び下請一覧表
7 使用材料承認願及び使用材料一覧表
8 日報
9 施工図
10 コンクリート調合表
11 鉄筋鋼材規格証明書
12 鉄骨鋼材
13 抗耐力結果報告書
14 施工計画書
15 現場写真
16 出来高調査
17 竣工図
18 竣工写真
19 竣工届
20 保証書

写(一部)
(一部)
(契約時工程表、中間修正工程表、通商工程表——ネットワーク)
(経歴書添付)
(経歴書添付、設備工事については5の届けを提出の事)
(週末提出一部)
(提出承認後製作、加工、組立)(竣工後原本の上提出)
(一部)
写(一部)
"
(日本工業規格表示許可書、写一部)
(各工事局)
(年、月、日及びスケールを入れ各工事毎にファイルする。下表参照)
(明細書添付、契約条件による)
(製本)(一部)
(二部)
(竣工引渡書)(一部)
(一部)

3 竣工検査

竣工期日前に、施主、購買人、設計者の三者互会上、竣工検査を行ない、手直し、ならびに残工事を完了の上、再検査も竣工期日までに受ける事。

4 竣工図面

建物引渡し後、一週間以内に竣工図を作成し、提出する。配置図、各階平面図、立面図、短計図、設備関係図、その他係員の指示する図面。

5 引渡し

引渡しに際しては、施工に關係した図書を提出する。内容は係員の指示による。

6 工事写真

下表を標準として、各工事名、対象物、年月日等を明記して、撮影の事

	撮影時期	撮影箇所	サイズ	その他
	着工時	工事範囲全景における着工状況	サービスサイズ	着工10日以内
	工事中	工事段階における要所、施す箇所	〃	物件表示、スケール入
	竣工時	外部二面以上、内部指示箇所	外部四ツ切、内部	カラー、外部一面はカラーパペル

7 保証

工事竣工、引渡し後、施工上の欠陥あるいは、使用材料の不良等により生じた破損、故障箇所は、直ちに無償にて補修する。但し、契約書又は、特記仕様書に保証期間明記のものは、それに従う。尚、防水工事については購買者及び下請業者の通常保証書を竣工図と共に提出する。

8 同等品の認定

本工事における同等品とあるものの決定は、全て係員の承認を得る事

9 仕様書図

1/2 マイクロマイラー仕上 (一部)
青紙製本(2ツ折製本、表紙色青) 4部

1 仮設工事

1 仮設計画

工事着工前に仮設計画を作成し、係員の承認を得てから、仮設建物等の設置に着手する事。

2 監督員詰所

面積(10)M²程度とし、その構造、内外部仕上、施設及び備品等は、事前に係員の承認を得る事。

3 仮囲い

工事現場の周囲には、
・有刺鉄線
・パネル
・仮囲い
・シート
④波型亜鉛鉄板等にて仮囲いを設け、通行人、作業員又は
附近建物等に危害を加えない様、位置等について係員の指示にて施工設置する。

4 騒音規制

購買人は、騒音規制法等によりすみやかに作業届付を提出すると共に、規制基準に適合する様係員と協議の事

5 工事用水

・構内既存の施設
・利用できる(有償無償)
④利用できない

6 工事電力

・構内既存の施設
・利用できる(有償無償)
④利用できない

2 土工

1 総則

工事に先立ち、必要と思われる埋設物等の調査を行う

2 根伐

根伐工法は着工前、係員と打ち合わせ、承諾を受ける事

3 崖戻・盛土

特記なき限り3:2:3による

4 残土処分

④場外搬出
・場内敷均し
・場内の指定場所に集積

5 載荷試験

平板載荷試験(・有④無)()箇所
杭載荷試験(・有④無)()箇所

6 砕石地業

フラッシャーラン(0~30)とする

3 杭打工事

1 杭の種類

・RCパイル
・PCパイル
・ACパイル
・摩擦杭
・現場打コンクリート杭
④HPCパイル
※PCパイル、ACパイルは特記なき限りA種とする

2 杭の断面、長さ、耐力

構造図による

3 試験杭

構造図による

4 杭の継手

④継手を設けない
・継手を設ける
・継手の種別
・溶接式
継手部分の耐力は、杭本体の耐力以上とし、詳細については予め仕様及び図面を係員に提出して、承諾を受ける事

5 工法

④打撃工法(・ドロップハンマー④ディーゼルハンマー)
・圧入工法
・振動工法
・中掘工法
・ジェット工法
・プレボリソグ工法(打撃工法を併用するM)

6 ヤットコ使用

・有④無()M

7 メーカー

④支持杭
奥洋パイル
大田パイル
又は同等品以上とする
・摩擦杭

8 杭頭処理

構造図及び同意仕様書による。
パイルカッター及びパイルキャップ(脚長500㎜)使用の事

4 鉄筋工事

1 鉄筋

普通鉄筋 JIS G 3112の規定によるSR-24を使用する
異形鉄筋 " SD-30、SD-35を使用する

2 材料試験

係員の指示のある場合は、JIS 3112による寸法の許容差、引張試験、曲げ試験とし、鉄筋径、製造所の異なる毎に1回まで6本とし
結果報告書を提出の事。

3 工作図

加工前に設計図により加工及び組立詳細図を作成して、係員の承認を受ける事

4 圧接

④する
・しない(・16#以上④19#以上) 施工箇所(④梁筋・柱筋)
作業者の技能資格 5-3-1表による
圧接試験 5-3-4によりガス圧接強度試験を行う。

5 型枠工事

1 型枠

型枠は詳細図及び端寸図を作成し、板割付、棧、押角の配置及び締付等も表わし、場合によっては見本品を作り、係員の承認を受ける事
型枠の内面に、塗布剤を使用する場合(打放型枠等)には、係員の指示を受け承認された物を使用する又型枠の材質等についても、係員の承認を受ける事。
主体型枠(普通) 市販パネル及び板厚12%以上の合板又は板材とし、そば突付、締付は(ボルト式)とする。
化粧型枠(打放用) そき板は、原則として、板厚12%以上の合板として、締付はコージン使用とする。

2 型枠存置期間

下表を最小値とする。

	型枠の種類	せき板	支保工
	部 位	基礎、梁割、柱、壁	版下、梁下
	セメントの種類	普通ポルトランドセメント	
	存置期間中の平均気温		
	15℃以上	3 (日)	17 (日)
	5℃以上	5	25
	0℃以上	8	28

6 コンクリート工事

1 コンクリート

レザーミクスコンクリートを使用し、JIS A 5308による他、コンクリートの調合強度、セメント最少使用量、粗骨材の種類と最大粒径、荷おろし地点での所導スランプ、
AE剤使用の際は、空気量について明記した調合表を提出し、係員の承認を得る

2 強度

	設計基準強度 N/cm^2
捨コン	135
基礎、地中梁	240
土間	④180・210
躯体	240

3 コンクリート強度試験

6・11・1による。

工事名

小笠北幼稚園々舎増築 工事設計図

図面名

特記仕様 (1)

縮尺

所長

担当

構造

製図

設計年月

ノート

設計監理 三浦建築設計事務所

静岡県小笠郡小笠町本所1502 TEL05373(6)3646
静岡県小笠郡小笠町農田477 TEL053773 3503
一般建築士事務所 登録()第1073号 一般建築士登録 第50501号 三浦 寛

A-2
NO 14枚の内

K-44

7 鉄骨工事	1 鋼材の材質	工法 特記なき限り、一般構造用圧延鋼材(SS-41 規格品)、冷間成形軽量形鋼(SS-41 規格品)とする。
	2 鋼止差材	JIS K-5622(鉛丹)(・1 種 ㊟ 2 種)とし、刷毛差(1面差)とする。
	3 鉄骨工場の選定	下請人届けを提出し、係員の承認を受ける。(建設省告示 第1308号 認定工場にて製作加工の事)
	4 工 作	工作に先立ち、各部の工作図、現寸図を作成し、係員の検査を受け、鉄骨工事施工要領書を提出し、係員の承認を受ける事 柱底はコンクリートを、ベースプレートより30%程度 控めに打止め、コンクリートの表面を充分荒した後、プレートの底辺より3%以上 延びて、全面を平滑にモルタル仕上とする。 アンカーボルトの設置は、芯距をけがきした t=1.2% 鋼板を、型枠に止めて白熱しの必要の無い様に施工する。
	6 索処理法	17・2・2 表より(・A 種 ・B 種 ㊟ C 種)とする。
	7 溶接完了後の検査	超音波探傷試験(㊟ 有 ・無) (100)箇所 ―― 溶接箇所の3割程度

8 組構工事	1 コンクリートブロック	㊟ 煉 炭 C 種 JISの規格品 厚(100)% ・ 耐力壁 C 種 JISの規格品 厚()%
	2 施 工 図	施工に先立ち、ブロック割(埋込ボルト、木しげ、埋込配管等の位置を関連して示す)、配筋詳細図、発出入口枠廻り及び躯体構造との取合等必要面図を作成し 係員の 承認を受ける。
	3 配 筋	構造図による。尚、各部の配筋については、8・1・6による。
	4 積 み 方	8・1・7 による。
	5 し ン ガ	8・3・2 による。 防水押えは、シंगा又は市販品、シंगा型コンクリートブロックを使用し、防水層とのすきまにはモルタルを詰める
	6 押出成形セメント板メーカー	三菱セメント建材、ノゾワ 又は 同等品 以上とする。

9 防水工事	1 マスファルト防水	使用メーカー仕様 使用箇所 工 法 天候気温等に留意し、係員の立会いを受けて施工する。尚、事前に、防水工事施工要領書(使用メーカーの品質証明書、仕様書等を含む)を提出し、承認を得る。下地は排水口に面して勾配を取り、表面を平滑に金で押えとする。出隅は半径30%以上の丸みを付け、入隅は100%程度の面取りとする。 ルーフレードレンは、コンクリート打設時に設置する。設備機減振の設置箇所等、係員の指示ある箇所には、防水層増設りとする。
	2 シート防水	使用メーカー仕様 カネボウ合成化学株式会社 又は 同等品以上 使用箇所 屋 根 工 法 アスファルト防水に準じる。下地 ポリエチレンフォーム敷(%)とし、シート厚1.2%。シルバー仕上げとする。
	3 塗 膜 防 水	使用メーカー仕様 使用箇所 工 法
	4 ニモルタル防水	使用メーカー仕様 使用箇所 工 法 アスファルト防水に準じる。コンクリート打放し面のコーン部分には、入隅にモルタル詰め、又はコーキングで周囲を補修し、係員の検査を受ける事。
	5 伸 縮 目 地	特記なき場合は、縦、横共に2.5M内外毎に、パラペット廻りは立上り仕上面より600%内外の箇所に、通り長く巾15~20%。深さは防水層に達する目地又は保護モルタル面までの目地を設ける。構造は巾25%の合成樹脂発泡材とする。 メーカー 山出製産(クワクタイトスーパー、クワクタイトソフト、コーナークワクタイト) 又は 同等品 以上
	6 漏 水 試 験	屋上受水槽、浄化槽、浴室及び指示箇所は、漏水試験(水量、24時間程度)を行う。
	7 保 証 書	各防水共責任施工、10年保証とし、防水施工業者は請負業者と連名の年保証をする事。
	8 コーキング	ウレタン系 外部ウツシ廻り、その他の特記なき箇所 材料 コーキング 油 性 図中特記ある箇所に使用。(株)ABC商会[ABCコーキング]、三星産業(株)[三星コーキング] 又は 同等品 以上 ポリサルファイド系 ・ 外部ウツシ廻り ・ ウツシの硝子押え ・ 嵌めし窓及び 戸の硝子押え ・ アルミパナール押え 色は使用材料に合わせる。(株)ABC商会[チオーク]、住友スリーエム[ウェザーパン] 又は 同等品 以上 シリコン系 硝子と硝子の穴合わせ箇所、又は図中特記ある箇所に使用し、色は使用材料に合わせる。 (株)ABC商会[トスシル361] 又は 同等品 以上
		工 法 施工に先立ち、コーキング剤との間に水の浸透する層の無い様に、施工面に付着したセメントノロ、ペイント層等は完全に除去し、清掃する事 使用箇所に応じたポンプを使用し、完全に充てんする。その隙へう等にて充てんしない事。他工事等の取合いにより、表面が汚損した場合、底に硬化した部分を取り除き、新しい材料を充てんして補修する事。

10 石工工事	1 材 料	設計図により、予め見本品を提出して、材質、色あい及び仕上程度の承認を受ける。特に大理石は色、模様等、むらの無い良材を使用する事。
11 タイル工事	1 材 料	100角半磁器タイル 使用箇所 図中 特記ある壁 伊奈製陶製品又は同等品以上(巾木出隅、入隅は伊奈製陶製品又は同等品以上) 25角磁器モザイクタイル 〃 〃 床 〃 100角磁器床タイル 〃 〃 床 伊奈製陶製品、岩尾磁器工業製品、有田タイル製品又は同等品以上 階段タイル 〃 図中ノンスリップタイルと指示ある箇所 伊奈製陶製品又は同等品以上
	2 タイル割	設計図に基づき、自地割図を作成し 係員の承認を受ける。
	3 工 法	外壁小口タイルは、特記なき限り改良庄着塗りとし、自地巾は8%程度とし、自地セメント使用の事。 上記の物は、全て、見本品を提出の上、係員の承認を受ける事。
	4 外壁伸縮目地	・ 加工しない ・ 施工する (15×10 材種 ポリサルファイド系コーキング)
12 木工工事	1 工 作 図	施工に先立ち、設計図に基づき工作図、現寸図及び見本品等を係員に提出して、承認を受ける。
	2 用 材 の 規 格	木材は充分乾燥したもので、「用材の日本産林規格」及び「合板の日本産林規格」による
	3 材 種	構造材 盛岡仕切、天井下地、壁間継ぎ 杉一寄 床 組 桧 又は ひばり一寄
		造作材 一般造作材 米松 又は スプルース黒色
13 金物工事	1 既量形鋼天井下地	(株)マンテン、日本鉄鋼(株) 又は同等品以上とし、係員の指示する工法により施工図を作成し、承認を受ける
	〃 壁下地	全 上 野縁、前柱等の種別 14・4・1 及び 14・5・2 による。
	2 鋼 止 の	屋内、屋外天、鉄部の鋼止めは、建築工事の鋼止めの項に準ずる。
	3 アルミニウム及びアルミ	表面処理の種類 ㊟ 黒着色陽極酸化皮膜 ・ 着色陽極酸化皮膜
	二重合金の表面処理	着色酸化皮膜の種類 ・ A 種 ・ B 種 14・2・1 表
	4 鉄の亜鉛メッキ	亜鉛メッキの種類 ㊟ A 種 ・ B 種 ・ C 種 14・2・2 表
		溶融亜鉛メッキの亜鉛付着量 ・ A 種 ㊟ B 種 14・2・3 表
		電気亜鉛メッキの種類 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 14・2・4 表
14 左官工事	1 防 火 材 料 等	屋内の壁、天井の仕上材は不燃、準不燃 又は 素材同等の認定のあるものとする。
	2 ひび割れ防止	15・1・4 による他、コンクリート面と、コンクリートブロック面との取合い箇所等は巾300%以上のメタルラス張りの上、モルタル塗にてひび割れ防止を計る
	3 防水モルタル塗り	防水材は下記製造所の製品 又は 同等品以上のものとする。 シフカー建設工業(シフカー-B5)、(株)油脂加工社(マール防水剤)、(株)東京ボス工業社(ボス防水剤)
	4 検 査	全ての左官工事の仕上りの時点にて、係員の検査を受ける事。
	5 人 造 石 研 出 し	複合石は6%以上とし、床等つや出しの場合は更に、220番金剛砥石で中研ぎし、浄源寺砥石で仕上、ワックス等にてつや出しを行う。 目地溝 (・ ステンレス ・ 真ちゅう)
	6 せ ん い 壁	四国化成工業(株) (ジュラックス ・ A ・ B ・ C) 又は同等品以上とする。
15 鋼製建具工事	1 アルミ製建具	耐風圧 (・ 200% ㊟ 240%) 以上とする。 表面仕上の種類 (・ 黒着色酸化皮膜 ・ 着色陽極酸化皮膜) 使用メーカー 不二サッシ、三協アルミ、新日鉄、YKK 製品 又は 同等品 以上とする
	2 ステンレス製建具	特記なき限り、ステンレス SUS304(耐腐品を含む)とし、厚2.0%以上のものと標準仕様とする。特記なき限り半角出しとし、ヘアライン仕上の上、クワイヤカー仕上とする。 使用メーカー 田島順三製作所、田島メタルワーク(株) 製品 又は 同等品 以上とする
	3 鋼 製 建 具	16・2・2 による 厚度は 16・2・1 表による 使用メーカー 昭和鋼機、三井製鋼加工(株)、 製品 又は 同等品 以上とする
	4 コーティング	使用メーカー 金剛産業株式会社、文化シャッター 製品 又は 同等品 以上とする
	5 自動開閉機	
		使用メーカー 日本エアブレーキ(株)(ナゴフアエンジン)、寺岡 製品 又は 同等品 以上とする
	6 工 作 図	上記の建具類は設計図により、現寸図、製作図を作成し、係員の承認を得る。建具金物の取付、種類、硝子の厚み、取付方法等 記入する。 尚、タイル貼面に使用する建具の寸法は、タイル割付に合わせるものとする。アンクルピースは原則として取付、水切はタイル貼箇所はタイル巻込みとし、特記のある箇所のみ二重水切とする。
	7 建 具 金 物	木製建具の建具金物の項に準じる。

16 石工工事	1 材 料	設計図により、予め見本品を提出して、材質、色あい及び仕上程度の承認を受ける。特に大理石は色、模様等、むらの無い良材を使用する事。
17 鋼製建具工事		
18 鋼製建具工事		

16 木製建具工事

1 材 料

木材は全て芯材とし、乾燥率は18%以下を標準とする。規格は「建具材の日本森林規格」及び「合板の日本森林規格」による。
木製フワッシュ扉は、特記なき限り4%塩化ビニルとする。但し、浴室、便所等水掛り部分は、T1とする。吊天となる部分及び化粧縁は、桧材使用とする。
横付ベニヤフワッシュ扉は、押通具共、壁面横付ベニヤと同種の物を使用し、柄を合わせる事。
着工に先立ち、工作図及び見本を提出して、係員の承認を受ける事。

2 工 作 図

3 工 法

フワッシュ扉 木口は合板の木口を出さない様、四方化粧縁を設け、横付ベニヤフワッシュ扉には化粧縁を同一材料を使用する。ガウリも同様とする。
小 す ま 周廻縁の召合わせ、変現縁は造り出しとする
紙 貼 障子 和紙貼りとし、組子寸法は 係員と打合わせの上 決定する
ガ ウ リ 全て、ヘ タイプとする

4 資 料 金 物

製品は原則として製造業者名その商標又は、マーク等表示のあるものを使用し、色あい、仕上、外観、寸法、形状、材質につき見本品を提出して係員の承認を受ける。
使用メーカー モノロック空錠 美和ロックH.Mシリーズ シリンダー錠 美和ロックH.Mシリーズ
ドアチェック ニッカナ製品(特記なき限りストップ付) プロアヒンジ ニュースター製品又は同等品以上
ヒポットヒンジ 中西、堀商店 製品又は同等品以上 ライトヒンジ、ライトリフ子 堀商店 又は 同等品以上
押 板 ユニオン製品(強化ガラスドア部含む) その他の金物 中西産業、堀商店
材 質 原則として、ステンレス製とする
マスターキー モノロック錠、シリンダー錠は 金属製造具、木製造具共通のマスターキーシステムとし、錠は 金属製、木製、各建具共 部屋別に明記して、キーボックスに入れ、引渡し時に提出する。

17 硝子工事

1 使用メーカー

旭硝子工業製品、日本板硝子工業製品、セントラル硝子工業製品又は同等品以上とする。

2 材 料

網入硝子は原則として繰入硝子とする。型硝子、熱線吸収硝子等は、見本品を提出して、係員の承認を得る
特記なき限り、金属製造具の硝子押えは 全て、ポリサルファイド系コーキングとする。

18 塗装工事

1 使用メーカー

関西ペイント(株)、大日本塗料(株)、日本ペイント(株) 製品又は 同等品以上とする

2 材 料

係員の承認する製品とし、南封しないまま現場に搬入して、直ちに係員の承認をうける。本工程の各工程では 同一メーカー品の使用を原則とする
色、つや、配色、仕上げなどの決定は、塗見本 状況等により、実物塗試験を行い 係員の承認を受ける事
着工前に 塗装工事施工要領書を提出し、係員の承認を受ける。

19 内装工事

1 床ビニルシート

材 種

厚 さ %

使用箇所・工 法 等

製 造 所

ビニル床タイル・ビニル床シート・ビニル床タイル・ゴムタイル・長尺シート・長尺シート・ノンスリップ床シート

・ 2.5 ・ 3.0・ 2.5 ・ 3.0・ 3.0 ・ 2.0 ・ 2.5

面中特記ある箇所・ 洗タワ室

ロシタル工業(株)「ロシタムアレン」又は同等品以上・ 「ステップ」

ビニル巾木 H= 60 ・ 75 ・ 100 使用メーカー 日本ビニリューム工業(株)「リフト長尺巾木」又は同等品以上
接 着 剤 特記なき限り、エポキシ樹脂系(E、P工法)とする (ビニル巾木は専用接着剤とする)

2 石コウボード、その他のボード

石コウボード、その他のボード、合板の種類、天井及び壁に使用される物は、全て防火材料の認定表示のあるものとする
その他のボード 石コウボード 厚 9.0 ・ 12.0 ・ 準不燃(準不燃 第2004号) ・ 不燃(不燃 第1011号)
合 板 裏り 石コウボード背面付 厚 9.0 ・ 12.0 ・ 準不燃(準不燃 第2004号) ・ 不燃(不燃 第1011号) 一部GL工法
・ 吸音用穴明石コウボード 厚 9.0 ・ 12.0 ・ 裏打ち材(不燃紙) ・ (準不燃第2006号)
・ 化粧石コウボード 厚 9.0 ・ 準不燃(準不燃 第2005号) ・ 不燃(不燃 第1013号)
大きさ 910 x 455 910 x 910 ジアトーン又は同等品以上
・ プリント化粧石コウボード 厚 ()% ・ 準不燃(準不燃 第2005号) ・ 不燃(不燃 第 号)
・ (木目) 厚 (9.0)% 裏打ち付 千代田建設工業(株)(ヒット天井)、吉野石コウ(テナバック)
・ ラスボード 厚 7.0 ・ 9.0
・ 石綿セメントプレキシアル板 厚 3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 8.0 浅野スレート(株)製品又は同等品以上 (不燃第1001号)
・ 石綿セメント平板 厚 5.0 6.0 8.0 () ()
・ 石綿セメントライト板 厚 6.0 ・ 8.0 ・ 10.0 ・ 12.0 浅野スレート(株)浅野ハイパック又は同等品以上 () ()
・ 石綿ワイドカルシウム板 厚 (6.0)% 面取り、ステンレス止メ(共通) 浅野ハイパック 又は 同等品以上 () ()
・ ロックウール吸音板 厚 9.0 ・ 12.0 日東紡績(株)(ミネラートン、ソフロン)又は同等品以上(不燃第1021号)
特記なき限り、9%石コウボード貼付下地、面なしとする
・ ロックウール吸音板(リブ付) 厚 15.0 ・ 19.0 日東紡績(株)(ミネラートンキューブ)又は同等品以上(不燃第1021号)
・ グラスウール吸音材 厚 ()% (不燃第1031号)
・ 木 毛 板 厚 ()% (準不燃2031号)
・ 合 板 厚 (5.5)% ラワンベニヤ 難燃仕様
厚 (6.0)% O.P塗仕上げの合板は 根ベニヤ T1、水掛り部分は T1 とする
・ プリント合板 厚 5%以上とし、特記なき限りV溝孔とし、接着剤貼りとする

20 雑 工 事

別紙雑工事表参照

21 吹付工事

吹付タイル アロンウォール 鍾紡合成化学(株)「ベルウォール」又は同等品以上
吹付吹付 アクリル系とし、明研化学工業「エマレックスリシン」又は同等品以上とする

工 事 名

小笠北幼稚園々舎増築 工事設計図

図 面 名

特 記 仕 様 (3)

縮 尺

所 長 担 当

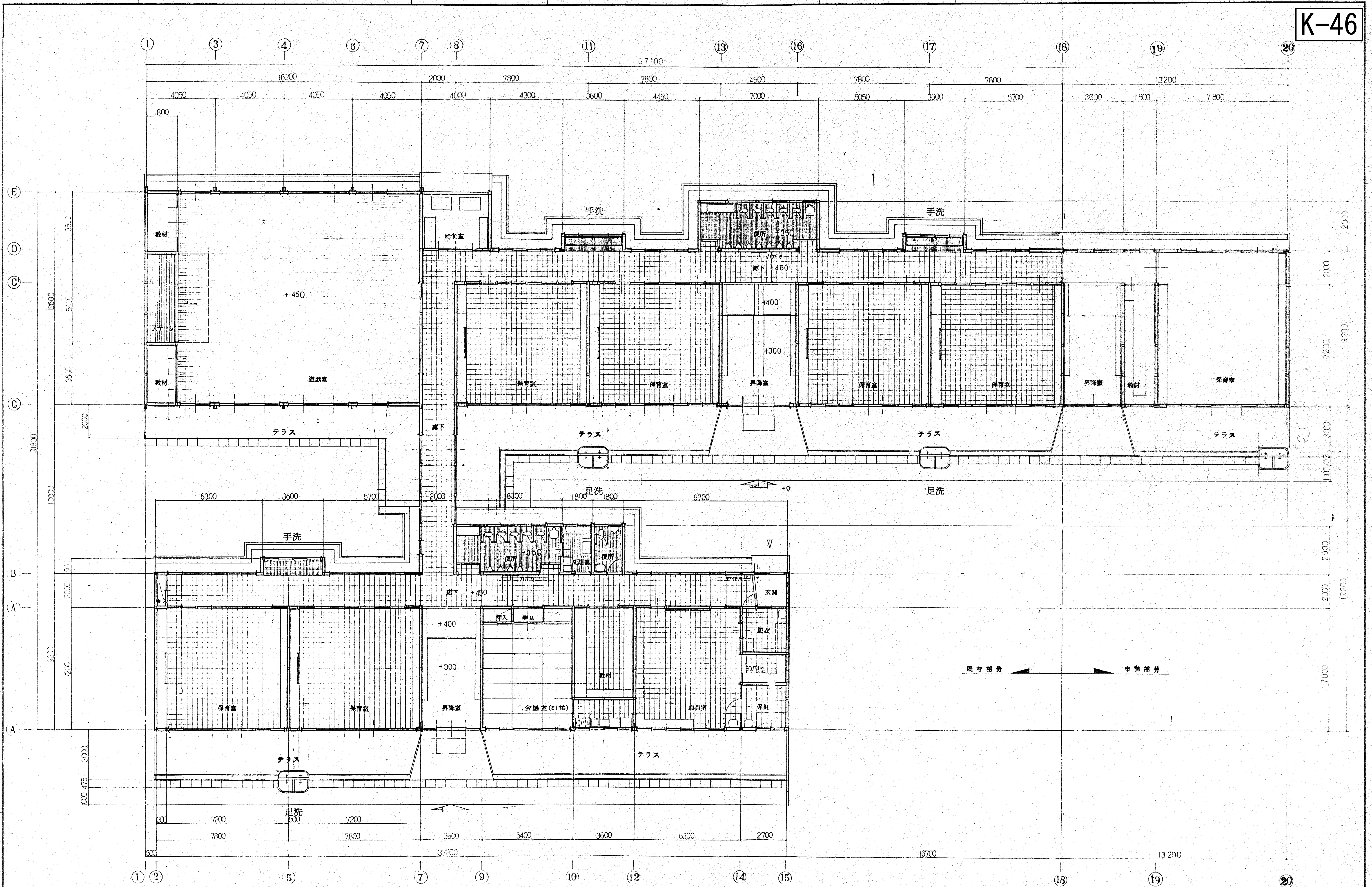
構 造 製 図

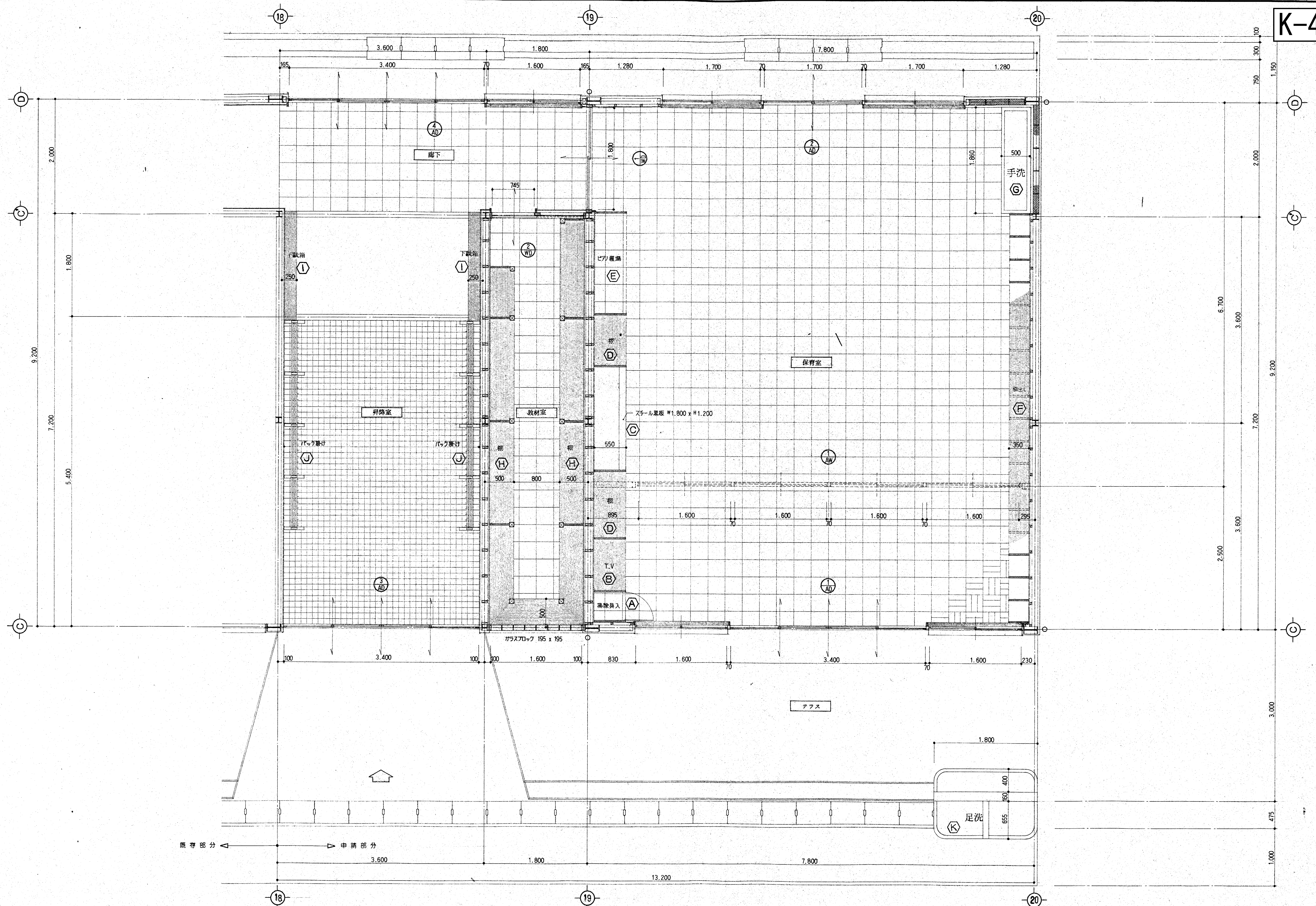
設計年月

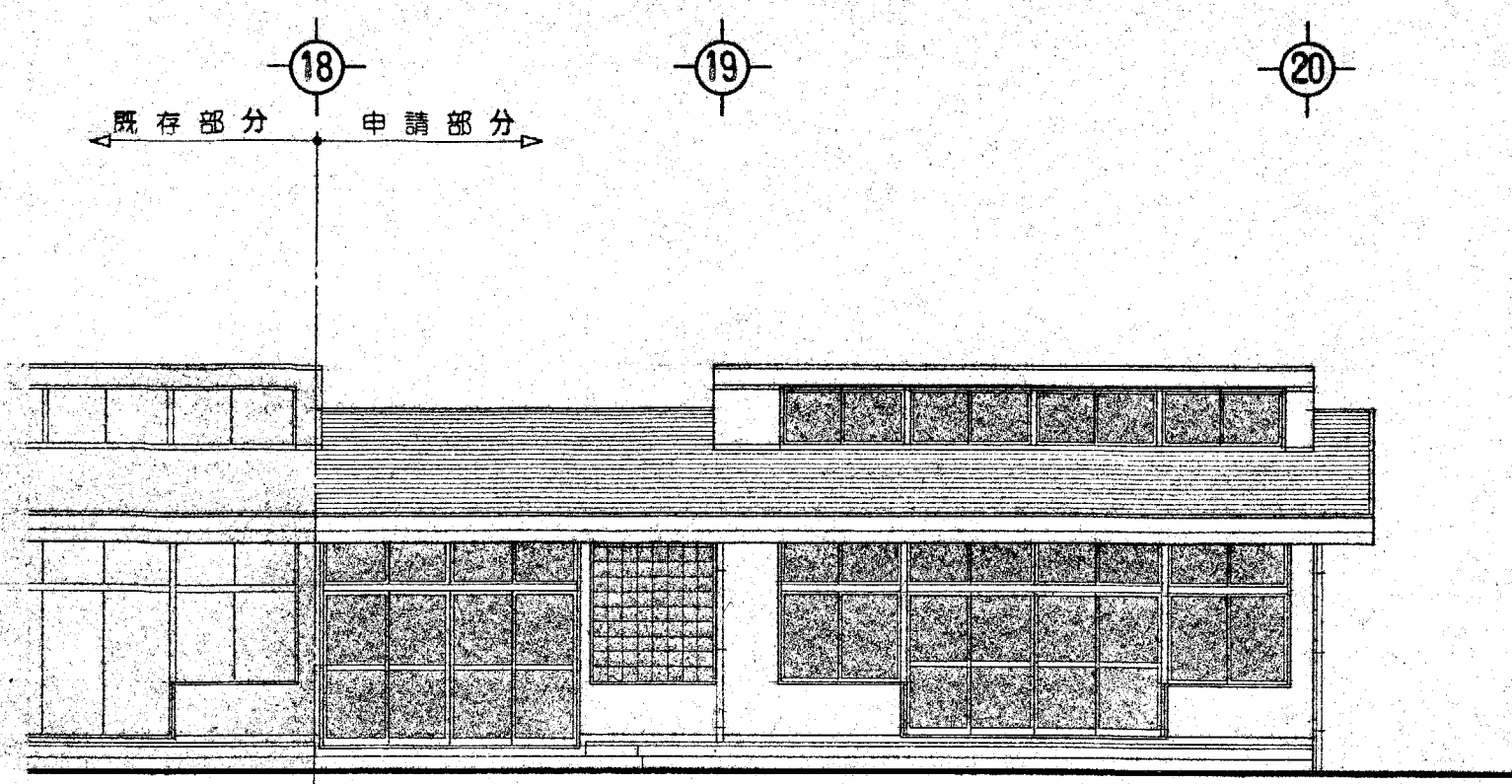
ノ ー ト

設計監理 三浦建築設計事務所 群馬県小笠郡小笠町本所1502 TEL05373(6)3546 群馬県小笠郡小笠町東田 477 TEL053773 3509 一級建築士事務所 登録() 第1073号 一級建築士登録 第50301号 三 浦 實

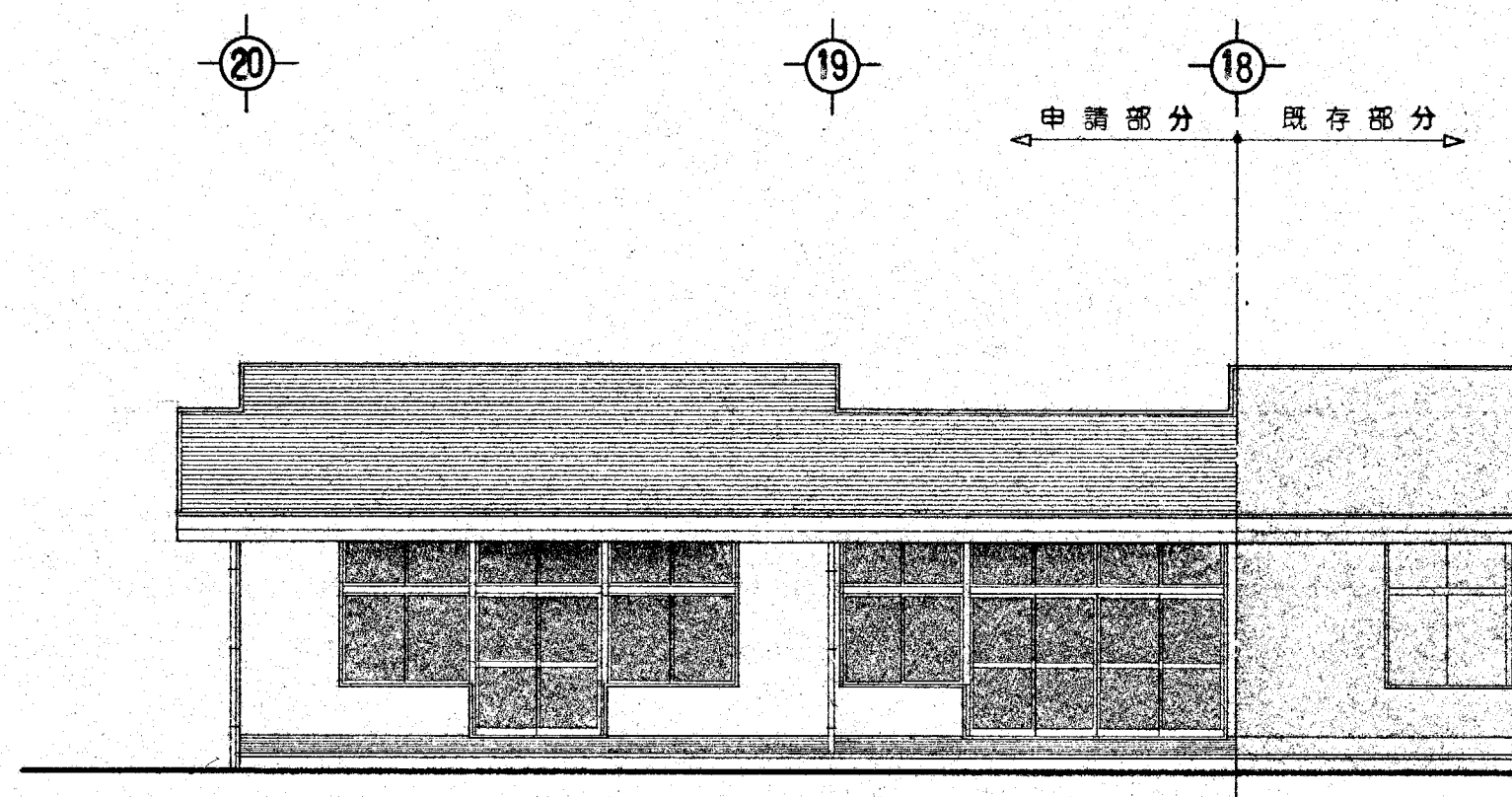
A-4
NO 14 枚の内



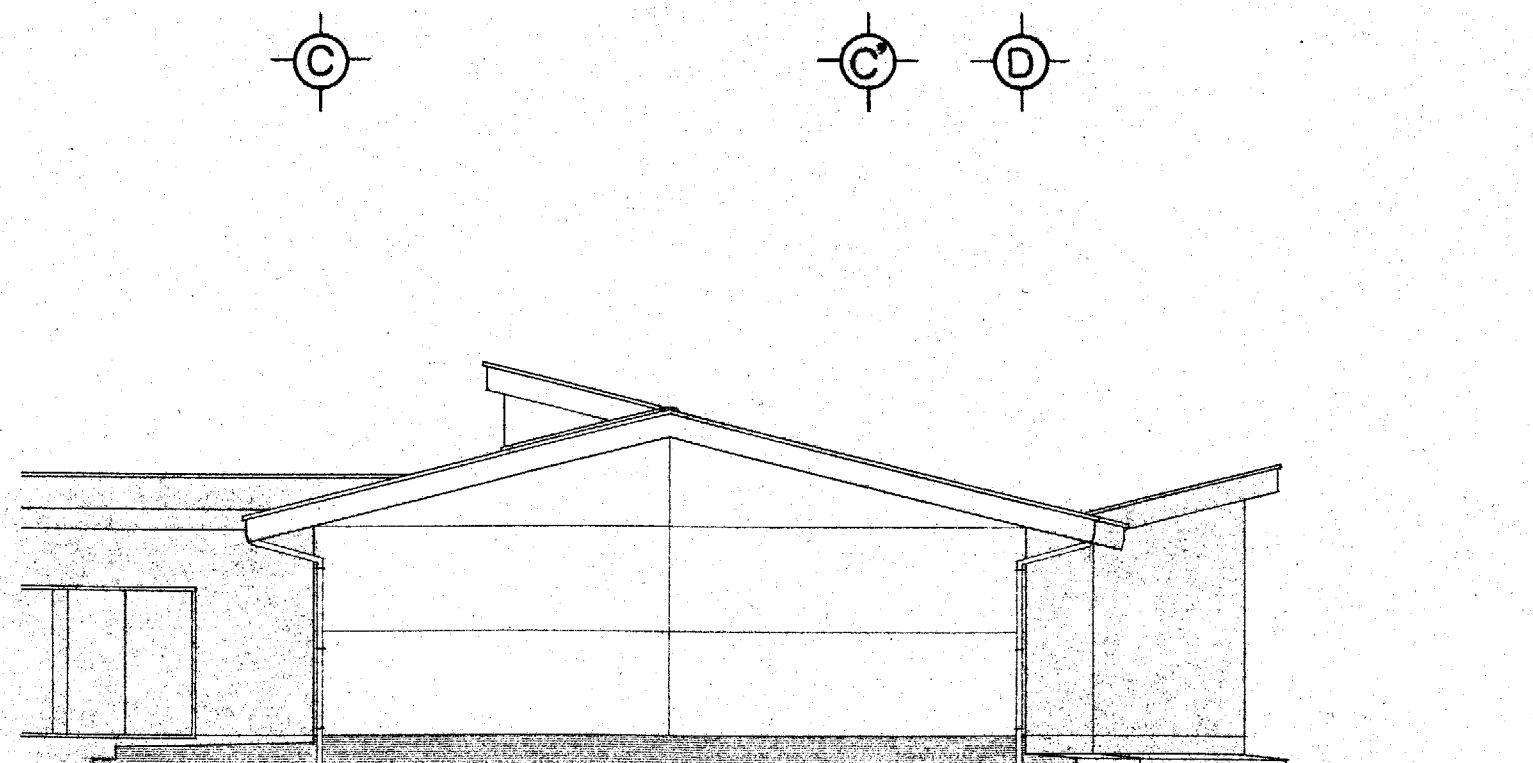




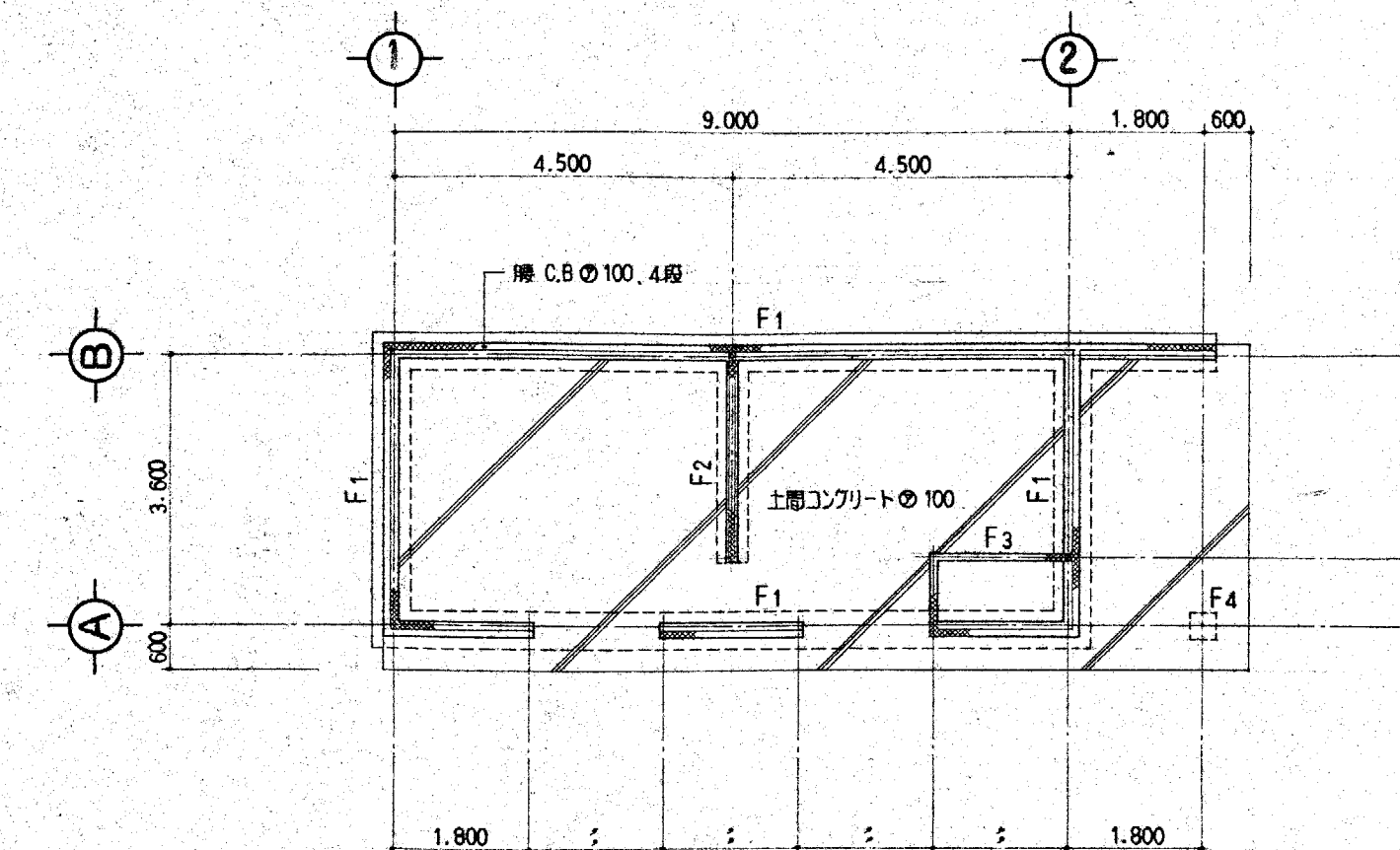
南立面図 S=1:100



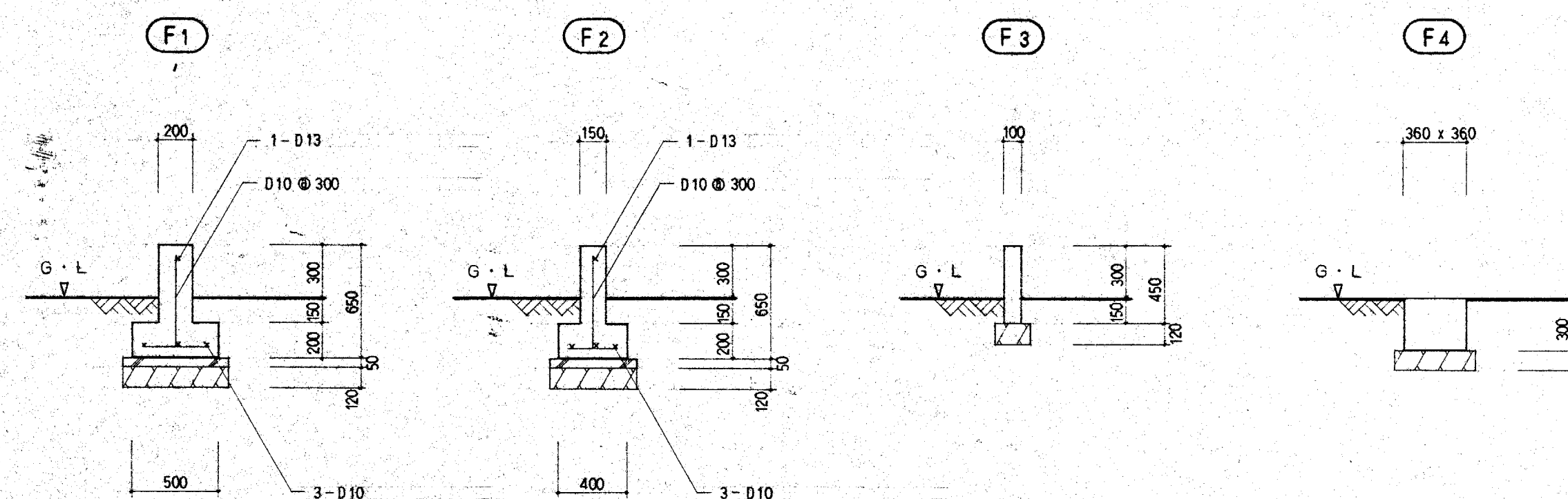
北立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



基礎伏図 (移転器具庫) S=1:100



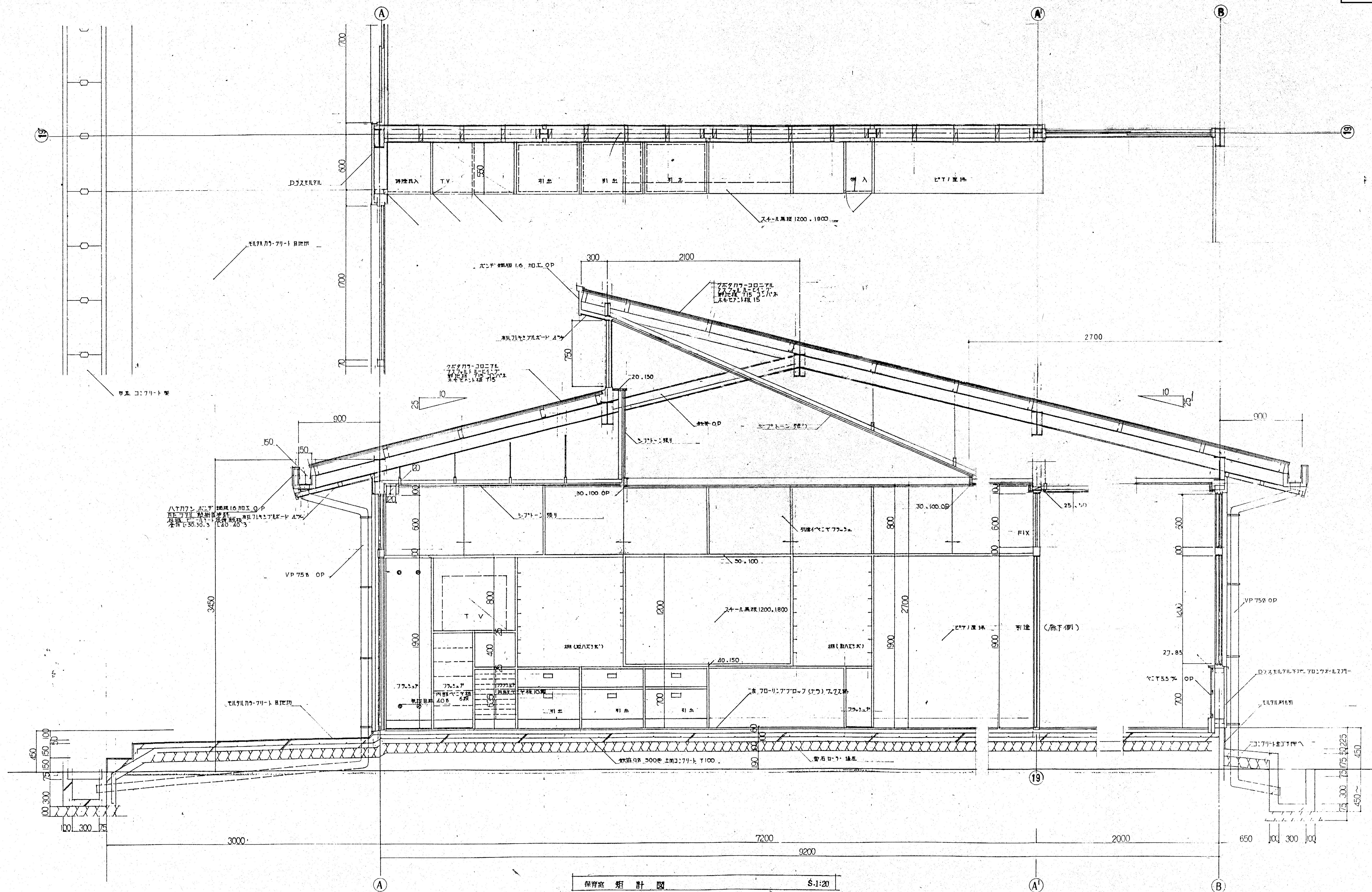
基礎詳細図 S=1:30

外部仕上表

名称	仕上
基礎	モルタル刷毛引
外壁	ラスモルタル塗 刷毛引 弾性アクリル系塗料付
屋根	カラーベストロニアル (合板 15 木毛 15 下地)
柱	軒柱 100 鋼板 26 鋼工 150 150 壁柱 150 VP 75 OP
建具	アルミサッシ 尺込 70 高さ 70 無目 100
テラス	モルタル カラークリート金コテ付 目地切
手洗 足洗	人石

内部仕上表

室名	床	巾木	腰	壁	天井	給排水
保育室 (廊下)	718 ナラフローリング	木 H-100 OP	755 ベニヤ目張り OP	全左 一部マスキング	79 シート	正面排水 背面ローラー
教材	全 上	全 上	全 上 OP 無し	全 上	全 上	
昇降室	100 高 磁器タイル ケレタ	人石 H-100	ラスモルタル下地 ニイタイル	全 左	79 フラスターボード下地 アクリル付	



保育室 断面図 S:1:20